

痛みの先で、人生はまた微笑む

LES FILMS PELLEAS  
PRÉSENTE

UN FILM DE  
ANNE-SOPHIE BAILLY

LAURE CALAMY

CHARLES PECCIA GALLERI TO

# 私のすべて

## Mon Inséparable

思いがけず訪れた巣立ちの季節に心は波立つ——  
フランスの新星が描く愛と解放の物語

2024 / フランス / フランス語 95分 / カラー / ビスタ / 5.1ch  
原題: Mon Inséparable / 英題: My Everything 日本語字幕: 岩辺いすみ  
監修: カローラ・フランセス・ジョンソン

後援：在日フランス大使館／アンティチュ・フランセ 提供：スター・キャット 配給：スター・キャットアルバトロス・フィルム 宣伝：エスパース・サロウ ©2024 L.F.P. - LES FILMS PELLÉAS / FRANCE 3 CINÉMA

感情のバレットの奥深くまで踏み込む

—Les Inrockuptibles

主人公は単なる「勇気ある母親」ではない。  
迷いや昂る感情を持つ等身大のヒロインだ。

—Le Parisien

第81回  
ヴェネチア国際映画祭  
オーサーズ・アンダー40賞 最優秀監督賞  
ソッリージ・ディヴィエルソ賞 最優秀外国語映画賞  
フィルム・インプレサ特別賞

第7回  
エル・グウナ映画祭  
スペシャルメンション  
シャルル・ベッシア・ガレット  
横浜フランス映画祭 2025  
上映作品



パリ郊外の小さなアパートに暮らすシングルマザーのモナは、発達に遅れのある30歳過ぎの息子ジョエルを女手ひとつで育ててきた。モナはショッピングモールのビューティ・サロンで、ジョエルは障がい者のための職業作業所で働いている。互いを支え合い、いたわりながら暮らしてきた二人。ところがある日、モナは、ジョエルと同じ施設で働くオセアンが彼の子を妊娠したと聞かされる。二人の関係を何も知らなかったモナは動搖し、母子の絆も揺らぎはじめる——



若さや欲望を封印し、歯を食いしばって生きてきた——  
人生を息子に捧げてきた女性の心と体の解放にエールを送り、  
親と子の新たな人生のはじまりのときを祝福する

横浜フランス映画祭2025にて『My Everything』のタイトルで上映され好評を博した本作は、日本での劇場公開も記憶に新しい『犬の裁判』で共同脚本を務めたアンヌ＝ソフィー・バイの長編監督デビュー作。医療従事者の家庭で育ち、ケアする人とされる人の美しくも葛藤のある関係を間近で見つめてきたバイが、自ら綿密な取材を重ね、オリジナル脚本に仕上げた。プレミア上映されたヴェネチア国際映画祭では40歳未満の新しい感性を持った若手監督・脚本家などに贈られるオーサーズ・アンダー40賞最優秀監督賞含む3冠を受賞。フランスから現れた新たな才能だ。突然の子離れを迫られ動搖する母モナを演じたのは、世界的人気を誇るTVシリーズ「エージェント物語」の“ノエミ”役でブレイクしたフランスの人気俳優、ロール・カラミー。モナの息子ジョエルに障がいを持つ俳優としてはじめてセザール賞有望若手男優賞の一次候補に選出されたシャルル・ベッシア・ガレット。ジョエルの恋人才セアンに演技未経験ながら施設での即興ワークショップで見出されたジュリー・フロジェを起用した。織細でエモーショナルなアンサンブルで描く、心の旅。人生の分岐点を通過した先に見える景色とは——



監督・脚本：アンヌ＝ソフィー・バイ 出演：ロール・カラミー、シャルル・ベッシア・ガレット

2024 | フランス／フランス語 | 95分 | カラー | ビスタ | 5.1ch 原題：Mon Inséparable / 英題：My Everything 日本語字幕：岩辺いずみ

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ 提供：スターキャット 配給：スターキャットアルバトロス・フィルム 宣伝：エスパス・サロウ R15+ ©2024 L.F.P. - LES FILMS PELLÉAS / FRANCE 3 CINÉMA

[cinema.starcat.co.jp/myeverything](http://cinema.starcat.co.jp/myeverything)

